

1 主な報告等

(1) 令和5年度の健康管理対策等について

委員から、職員が楽しみながら参加する健康増進施策の実施やストレス軽減のための具体的なアドバイスの提供等についても検討していただきたい旨の発言がありました。

(2) 令和5年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

委員から、サイバー犯罪に関する被害相談の窓口にアクセスできていない世代もいると懸念される。多くの人々の不安を取り除くためにも、相談に関する広報の在り方について検討していただきたい旨の発言がありました。

(3) 在沖米軍施設ディスパッチセンター(緊急派遣センター)との連携強化について

委員から、事件・事故発生時に米軍側と迅速に連絡できるようになったのは適切な初動対応に繋がるので素晴らしい取組である。今後も緊密な連絡、情報共有体制を維持していただきたい旨の発言がありました。

(4) 令和5年中における刑法犯認知件数(確定値)について

委員から、様々な社会現象をコロナを中心に見ているが、コロナ禍にとらわれることなく人々の行動様式の変化等をしっかり分析して、今後の防犯対策に取り組んでいただきたい旨の発言がありました。

(5) 第48回沖縄県警察白バイ安全運転競技大会の実施結果について

委員から、白バイ大会は県民にアピールするコンテンツとしては充分なので、ショーアップする等もっと盛り上げる工夫をしてもらいたい。また、白バイに憧れる若年層は多いので、この機会を捉えて警察官募集活動にも繋げていただきたい旨の発言がありました。

(6) 令和6年能登半島地震に伴う広域緊急援助隊等の派遣について

委員から、派遣された職員は非常に困難な現場で対応に苦慮したと思うが、この経験は派遣された職員にも県警察にも財産になると思う。沖縄でもいつ大きな災害が起こるか分からないので、経験から得た知識等を多くの職員に共有・継承していただきたい旨の発言がありました。

(7) その他

警察本部から、刑法犯認知件数が全国的にも増加傾向にあるが、社会経済等の回復状況や人々の行動様式の変化等を分析し、増加傾向に歯止めをかけられるようしっかりと対応してまいりたい。また、能登半島地震で災害に対する意識が高まっている機会を捉えて関係機関との連携を進め、各種防犯対策を推進してまいりたい旨の発言がありました。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 人事関係報告
- ・ 令和6年度組織改編の概要について
- ・ 公安委員会あて苦情について
- ・ 犯罪被害者給付金の裁定について
- ・ 訟務関係報告
- ・ 公安委員会あてホットラインの受理について
- ・ 令和6年第1回沖縄県議会(2月定例会)の日程(予定)等について

(2) 生活安全部

- ・ 生活安全企画課関係報告

(3) 刑事部

- ・ 沖縄県公安委員会規則の一部改正について(案)
- ・ 刑事訴訟法改正に伴う逮捕状を請求することのできる司法警察員の指定について

(4) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 交通情報の提供に関する事務の委託契約に係る公安委員会の認定審査結果について

(5) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求及び警備情勢について